

令和3年度 ACTR

分類 番号	A6	取組 名称	海と森の京都の融合による文化観光拠点の形成 ー舞鶴市東舞鶴地区と綾部市上林地区の文化資源の発掘と活用ー
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名： 横内 裕人
研究担当者： 京都府立大学（東昇、岸泰子） 外部分担者・協力者（岩見修一氏、岡坂敬子氏、小室智子氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 舞鶴市（包括連携協定）、舞鶴市郷土資料館、京都府綾部市教育委員会、奥上林地区自治連合会			
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>綾部では、君尾山光明寺仏像・位牌、石造物、菅坂峠道を踏査し、上林地区養蚕業の確認調査を行いました。また綾部市資料館企画展示「君尾山光明寺の至宝」を共催し、ACTR の成果を公開しました。</p> <p>舞鶴では、舞鶴地方史研究会・舞鶴郷土資料館と共同で古文書調査を実施し、舞鶴地域の歴史の探求や世代間交流を図り、市内の大庄屋文書を整理しました。また舞鶴市赤れんがパーク特別企画展「鎮守府がやってきた！」に協力しました。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>綾部では、光明寺本堂保管の仏像を調査しました。その結果、不動明王（鎌倉時代）が全国でも類例が希少な作品であることが確認できました。また位牌については、江戸時代前期に遡るものから昭和に至る檀越・檀家の位牌があり、古文書にはあらわれない君尾山信仰を解明する資料であることがわかりました。また君尾山麓の養蚕用具・施設の聞きとり調査を行い、上林地区の生業史を記録しました。こうした調査成果をまとめ、綾部市資料館企画展示「君尾山光明寺の至宝」を共催して学生による展示解説を実施し、多くの市民から公表を博しました。</p> <p>舞鶴では、江戸時代の田辺藩大庄屋木船家文書の調査をし、約1万点の調査を終えました。文書の解読や綾部上林など地域の事例などとの関係を考察し、舞鶴市の展示や調査成果をまとめたパンフレットを作成配布し、舞鶴の文化資源についての啓蒙を諮りました。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<p>R2. 10. 2～31 舞鶴市赤れんがパーク特別企画展「鎮守府がやってきた！」</p> <p>R3. 2. 23-3. 15 綾部市資料館企画展示「君尾山光明寺の至宝」観覧者 223 名（2. 27 学生による説明会 聴講者 95 名）、成果パンフレット配布</p> <p>※奥上林公民館で開催予定だった「奥上林公民館大会・アクター成果報告会」はコロナのため中止</p> <p>R3. 3. 20 舞鶴地方誌研究会 成果報告会 成果チラシ配布</p>			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
<p>文学部 横内研究室 教授 横内 裕人 Tel: 075-703-5256 E-mail: yokouchi@kpu.ac.jp</p>			

参考（イメージ図、活動写真等）

君尾山光明寺本堂での位牌・仏像調査



綾部市資料館企画展示「君尾山光明寺の至宝」

